

令和5年10月2日  
道路局企画課  
国土技術政策総合研究所踏切道における視覚に障害のある方の誘導対策についての評価実験を実施  
～模擬踏切へ誘導表示等を設置し実験参加者に体験いただきます～

国土交通省では、令和4年6月に改定した「道路の移動等円滑化に関するガイドライン」において継続検討することとした「『表面に凹凸の付いた誘導表示等』の設置の在り方」について、踏切道等における視覚障害者誘導対策ワーキング・グループ（以下「WG」という。）にて議論しております。

国土技術政策総合研究所にて評価実験（予備実験）を9月21日に実施し、模擬踏切で実施する評価実験の誘導表示パターンを選定いたしました。この度、模擬踏切へ誘導表示等を設置し、実際に視覚に障害のある方や車椅子を使用されている方に体験いただく評価実験（本実験）を実施しますのでお知らせいたします。実験結果を踏まえ、道路の移動等円滑化に関するガイドライン改定を実施します。

※ 国土交通省では、特定道路<sup>注</sup>上（344箇所）等の踏切道を優先的に対策を進めています。

注）バリアフリー基本構想に位置づけられた生活関連経路を構成する道路等で国土交通大臣が指定する道路

- 日時 令和5年10月3日（火）～5日（木）、12日（木） 10:00～16:45（荒天以外、雨天決行）  
（取材対応可能時刻 令和5年10月5日（木）13:15～14:45）
- 場所 東鉄工業株式会社 東鉄総合研修センター内（模擬踏切）  
（茨城県つくばみらい市紫峰ヶ丘2-1）  
※詳細な場所等は、取材希望のご連絡をいただいた方にお知らせいたします。
- 実施内容  
・踏切道における視覚に障害のある方の誘導対策として、9月21日に実施した評価実験結果を踏まえて、別紙1のとおり模擬踏切へ誘導表示等を設置し、参加者に体験いただきます。
- 参加者 視覚に障害のある方、車椅子を使用されている方  
※当日取材を希望される方は10月4日（水）12:00までに別紙2のとおりメールにてご連絡ください。期日までにご連絡いただいた方へ、「当日のご案内」をお送りいたします。

## &lt;問い合わせ先&gt;

## 【道路の移動等円滑化に関するガイドライン・WGについて】

道路局 企画課 大西、福島

代表：03-5253-8111（内線 37562, 37554） 直通：03-5253-8485

## 【評価実験の実施について】

国土技術政策総合研究所 池田、池原、久保田

直通：029-864-4539

## 踏切道等における視覚に障害のある方の誘導に関する評価実験（本実験）

### ●実験概要

9月21日(木)に国土技術政策総合研究所の構内にて実施した評価実験（予備実験）にて、踏切道における視覚に障害のある方の誘導対策として本実験で検討すべき誘導表示等を選定しました。

予備実験では、踏切手前部の点状ブロックと誘導表示の間に 50cm 程度の隙間を設けることで、踏切の認識性が上がるとの結果となりました。

一方、踏切道内の誘導表示等に関しては、様々な意見が寄せられました。

今回の本実験では、予備実験の結果を踏まえ選定された4つのパターンの誘導表示等を模擬踏切へ設置し、視覚に障害のある方に通行体験していただき、踏切道内の認識性、識別性、直進性等について評価等を聴き取ります。また、誘導表示等が車椅子を使用されている方に通行の支障とならないかについても確認いたします。

### 【実験パターン】

		———：遮断かん位置
①	<p>かまぼこ形の誘導物 (幅：100mm、高さ：20mm)</p> <p>台形の突起※? (幅：100mm、高さ：視覚障害者用誘導ブロックと同じ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●踏切手前：標準的な線状ブロックと点状ブロック、点状ブロックと踏切内誘導表示の間に隙間あり</li> <li>●踏切の中：かまぼこ形の誘導物+台形の突起（線路側の端に設置） <ul style="list-style-type: none"> <li>➢上記の誘導表示により、認識性、識別性、直進性などを評価する</li> </ul> </li> </ul>
②	<p>誘導ライン (隙間あり)</p> <p>エスコートゾーンと同様の構造</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●踏切手前：標準的な線状ブロックと点状ブロック、点状ブロックと踏切内誘導表示の間に隙間あり</li> <li>●踏切の中：線状突起の誘導ライン+隙間+エスコートゾーンと同様の構造 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢上記の誘導表示により、認識性、識別性、直進性などを評価する</li> </ul> </li> </ul>
③	<p>1/2サイズの線状ブロック (2本の線状突起)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●踏切手前：標準的な線状ブロックと点状ブロック、点状ブロックと踏切内誘導表示の間に隙間あり</li> <li>●踏切の中：1/2サイズの線状ブロック（2本の線状突起） <ul style="list-style-type: none"> <li>➢上記の誘導表示により、認識性、識別性、直進性などを評価する</li> </ul> </li> </ul>
④	<p>エスコートゾーンと同様の構造</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●踏切手前：標準的な線状ブロックと点状ブロック、点状ブロックと踏切内誘導表示の間に隙間あり</li> <li>●踏切の中：エスコートゾーンと同様の構造 <ul style="list-style-type: none"> <li>➢上記の誘導表示により、認識性、識別性、直進性などを評価する</li> </ul> </li> </ul>

※1：レール直近には誘導表示を設置しない

※2：レール間とレール近傍は設置実績のある視覚障害者誘導用ブロックと同じ高さとする



写真1 9月21日に実施した予備実験の様子



写真2 本実験実施場所  
(東鉄工業(株)東鉄総合研修センター)

※これまでの「道路空間のユニバーサルデザインを考える懇談会」及び「踏切道等における視覚障害者誘導対策ワーキング・グループ」開催状況については、以下 URL を参照ください。

<https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/universal-design/index.html> (懇談会)

<https://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/working-group/index.html> (ワーキング・グループ)

※評価実験（予備実験）に関する令和5年9月15日記者発表は、以下 URL を参照ください。

[https://www.mlit.go.jp/report/press/road01\\_hh\\_001704.html](https://www.mlit.go.jp/report/press/road01_hh_001704.html)

## 取材希望者申込先

国土交通省 道路局 企画課 宛

申込先 (E-mail) : fukushima-h87vr★mlit. go. jp

: iwasaki-m2m3★mlit. go. jp

(★を@に変えて上の2アドレス宛に送信してください)

## 取 材 申 込

メールに以下をご記入のうえ、10月4日(水)12:00までにお申し込みください。

件 名 : 【取材希望】踏切道等における視覚障害者誘導対策の評価本実験

貴社名	
連絡先	電話番号 : メールアドレス :
取材者(代表者) 氏名	(ふりがな) 氏 名
取材者人数	人
車両 (最大1台まで)	あり                      なし
連絡事項等	

## 〈留意事項〉

取材にあたっては、主催者及び施設管理者の指示に従うとともに、体験される方や運営の妨げにならないようご協力をお願いします。